

第13回埼玉県中小商工業交流・研究集会開催 めざそう！平和で持続可能な経済・社会

4月24日（日）さいたま市さいたま共済会館にて開催され、埼玉県商工団体連合会、第13回中小商工業交流・研究実行委員会主催で行われた集会に250人が参加しました。

午前は全体会として、ジャーナリストの高野 孟氏を講師に迎え『めざそう！平和で持続可能な経済・社会』の記念講演が行なわれました。今の政治を精密に研究されている高野さんはアベノミクスの失敗を、株価代下落・冬季ファンドの脱出を取り上げ、世界のジャーナリズムの視点から分析しています。冷戦後、旧ソ連・東欧・インド、中国から数十億人が市場経済に参入し、日本はフロンティア喪失で慢性的な過剰生産に。それでも利潤率を追求し続け中間層を食いつぶし格差が生まれた。日本では特に人口減少に歯止めがかからず需要が減って当たり前の社会が到来した。これからは途上国『成長』経済から先進国『成熟』経済、大企業中心から中小・ベンチャーの創造性に、そして高齢化から長寿化社会へ、そして日本人が得意とするものづくり経済へ転換することが最重要課題と、わかりやすく報告くださいました。



第1分科会 『自分探し』の経営計画書づくり

助言者に第一経営グループ代表吉村公平さんから厳しい経営環境を乗り切るために自身の羅針盤を持つことが大切、10年後の自分を見据えて目的と目標、目的と手段の違いについて考えることが商売を伸ばすコツであることを報告しました。発言者に、川口民商会員の赤城義隆さん（運送業）は、自分を楽にするために事業計画を作り社内の組織改革を進めてきたこと、浦和民商会員の齋藤照子さん（建設業）は、小さい事業所から大きな会社組織に育てた道程の話。経理の重要性、商売は信用第一という経験を報告しました。最後にさわやか信用金庫職員小林 徹さんより銀行員からみた事業所作成のポイント、特に事業の実現性の高さをしっかり説明できることが大切とお話がありました。



みなさんの報告は大変前向きで地に足の着いた元気のもので、参加した39名のみなさん、一生懸命メモを取りながら聞いていました。

松本 安映

第2分科会「地元優先発注で地域循環型経済を」

行政総合研究所理事長の永山利和さんに助言を頂きながら討論しました。第2分科会のメインは群馬県高崎市のまちなか商店リニューアル助成事業補助金について高崎市の職員の方を実際にお招きし、制度設立の経緯などを解説していただいたことです。この制度は商店主が店舗の改装や備品の購入などをする際に、最大100万円を補助するという制度です。平成23年に市長が就任した際、地元の業者に仕事を回すことで市内の経済を発展させたいとの考えから制度の設計に着手し、平成25年度よりスタートしたとのことでした。制度を利用した商店からは、「店舗を綺麗にして売上がアップした」、「若い人が来るようになった」、「経営意欲が増した」など前向きな意見が多く出ているそうです。まずは小規模の助成制度を提案してみてもどうかというアドバイスを頂きましたので、今後は今回の分科会で学習したことを活かして市との懇談などで役立てたいと思いました。

小松崎俊一



熊本震災への緊急支援のお願い 災害募金箱を事務所に設置

2016年4月14日に熊本地方を襲った大地震、今も940回以上の揺れが続き甚大な被害が発生しています。

熊本県の会員の間では工場がつぶれ再開のめどが立たない（鉄工所）、店内の商品が倒れて全滅状態（酒店、飲食店など）、繁忙期にボイラーが倒れてどうしようもない（豆腐店）、などの被害が続々と熊本県商工団体連合会に届き、全国商工団体連合会が15日から熊本に入り会員の安否確認を行なっています。また長崎、鹿児島、宮崎県の会員についても安否を確認中です。

浦和民商は募金活動を開始、熊本県商工団体連合会へ支援金を送ることを決め事務所に募金箱を設置しました。

◎お預かりした募金は直接、熊本県商工団体連合会へ送金します。

緊急の御協力を何卒宜しくお願い致します。

（浦和民商会長 香田政則）

第3分科会『地域に貢献、地域での仕事おこし』

第3分科会は民商まつりと夜のオリエンテーリングをテーマにして、討論を行いました。所沢では、所沢市役所の街バルと所沢民商独自の夜オリが併存して行われており、夜の町の活性化に大きく貢献しているなと思いました。しかも所沢民商の夜オリには市役所が後援をして、市長が挨拶に来るということで、民商と所沢市役所がタッグを組んでがんばってるんだと感じました。



坂戸民商は2万人規模の民商まつりを開催しているということで、一体どうすればそんな規模になるんだと驚きました。

浦和は民商まつりに取り組んでいますが、料飲の会員さんを中心に、夜オリを実現していければなと思いました。

宮川 雅弘

事務所からお知らせです

日頃より浦和民商へのご協力とご理解誠にありがとうございます。商工新聞は、5月2日号が休刊となります。ゴールデンウィーク中、暦通りのお休みとさせていただきます。